

FUJIEDA ROTARY CLUB

Weekly Bulletin

例 会： 毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL：054-641-3321
事務局： 藤枝市青木1-9-16 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
E-mail：club1972@fujieda-rotary.org

会長：青島 克郎 副会長：松葉 隆夫 幹事：仲田 廣志 副幹事：増田 國衛

第1791回

<ソング> 我等の生業
<ソングリーダー> 鈴木廣利君



2008-2009年度 RIテーマ
夢をかたちに
李 東建



メパセコイア

写真提供：事務局

会長報告 青島 克郎君

先週の金曜日に仲田幹事と一緒に水野義猛さんのお見舞いに行き参りました。水野さんは9月中旬に東京での消防関係の会議に出席し階段から足を踏み外し後頭部に怪我をされ2ヶ月ほど東京の病院に入院されていました。幸い消防関係者が一緒だったため救急車の手配が早く大事に至らなかったそうです。ご自宅でお会いしたときは大分お元気な様子で一安心いたしました。来年からはロータリーの会合にも出られそうと言うことでした。早く回復される事をお祈りいたします。

本日は米山記念奨学生でスリランカから静岡産業大学国際情報学部留学中のワサンタ・デーシャプリアさんを卓話にお迎えしております。

米山梅吉氏没後6年の1952年、東京ロータリークラブの会員によって「米山基金設立」の構想が立てられました。

将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的として始まったこの事業は国内全クラブの合同事業として発展し、1967年文部省の許可を得て財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。

“月に煙草一箱を節約して”というスローガンから始まった米山奨学事業は設立以来累計で奨学生数13,000人を超え、国籍別では106カ国となりました

奨学生第1号は2002-2003年RI会長ビチャイ・ラタクル氏が来日の際に知って感激したというタイのソムチャード君です。

米山奨学会では指定校推薦制度によって奨学生の

募集と選考を行っています。この指定校はロータリー地区選考委員会で毎年協議され8月頃に募集人員と合わせて公表されます。全国の大学と僅かですが高等学校と専門学校を含む約434校が定められ、静岡県では静岡大学、地元の静岡産業大学など10校、山梨県では山梨大学など4校となっています。

まず指定校では学生に対しての募集と応募者の学内選考を行い合格者を地区に推薦します。地区ではこれを受けて選考委員会による選考を行います。この推薦制度による奨学生は学部3、4年目を対象とするもの、大学院修士課程1、2年目を対象とするもの、大学院博士課程2、3年目を対象とするもの、高等教育機関を対象とするものの4つがあり奨学金の金額もそれぞれ異なっています。期間については大学に置いては最長2年、高等学校、専門学校等においては1年となっています。

この指定校制度以外にも世話クラブが支える博士号取得のための1年延長制度や現地採用の招聘型のもの、海外学友会による渡航前採用のものがあります。

すべての奨学生には全国約2,300のロータリークラブのうちの1つのクラブが、1人の奨学生の「世話クラブ」となります。

そして世話クラブのロータリアンの中から1人がカウンセラーとなり奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーとなります。

当クラブでは2000-2002年の2年間に亘り中国の馬君の世話クラブとなり鈴木廣利君がカウンセラーを務めました。

米山奨学生は世話クラブの例会に月に一度出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。

様々な職業、世代で構成されるロータリー・クラブでの交流は、奨学生が日本文化に接し、将来や奉仕について考える機会となります。米山奨学生とロータリアンの交流は、相互理解のみならず、双方にとって財産となるものです。

幹事報告 仲田 廣志君

- ガバナー事務所よりガバナー月信 12月号 No 6 と「友」インターネット速報 No 362 が届いております。
- ロータリー財団奨学金小委員会より 2010～2011年度派遣 ロータリー財団国際親善奨学生募集要項の案内が届いております。
- 日本ロータリー-親睦ゴルフ全国大会のご案内が届いております
日時 2009年3月16日(月)琉球ゴルフ倶楽部
- IT推進小委員会より第2620地区IT推進事業に関するアンケートが届いております。
- ガバナー事務所より2011～2012年度ガバナーノミニ-候補者推薦の件と「RI意義ある業績賞」推薦のお願いが届いております。
- 藤枝子どもと本をつなぐ会通信 No 53 が届いております。
- 藤枝市長杯争奪ジュニアユースサッカー大会のご案内が届いております。
日時 平成20年12月24日(開会式)・25日・26日(閉会式)
場所 藤枝総合運動公園サッカー場

出席報告 青島 彰君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
23 / 36 63.89%	26 / 35 74.29%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
落合君 北村君 後藤君 杉山君

松葉隆君 水野君 望月晃君 飯塚君
板倉君 鈴木舜君 仲田晃君 望月志君 山田君
(2)メイクアップ者
北村 幸男君(焼津南) 杉山 静一君(焼津南)

ビジター

藪崎 宰一君(藤枝南)

米山記念奨学生卓話

ワサント
デーシャップリア様



カウンセラー
成竹賢治君(静岡北)



ロータリー財団委員会
米山奨学会
担当リーダー
松葉 義之君



『観光地としてスリランカの魅力』

インド洋にある宝石とも呼ばれる島スリランカ。名前のとおり“光輝く島”です。面積は北海道の4/5になる島の中で、観光客には見逃せない所ばかりの緑の豊かな国です。中でも、2008年現在七つの世界文化遺産及び自然遺産として登録されてあります。そのどれもがスリランカの歴史、自然を感じる所であります。その七つの所とは、アヌラーダプラ、ポロンナルワ、シーギリヤ、ダンブッラ、キャンディ、シンハラージャ森林保護区とゴールです。

アヌラーダプラ

紀2500年前のスリランカ最古の都でした。豊

かな水をたたえる貯水池と渴いた大地が印象的です。アヌラダプラといえば、思い出すのは“スリーマハーボーディ”と呼ばれる菩提樹です。仏陀はこの木の下に座り、さとりを得たので仏教に対して大切な木であります。今から2000年前にインドからもってきたこの菩提樹は今現在も緑の葉を広げています。またイスラムニヤ精舎も印象的なところです。アヌラダプラでは、仏舍利を安置して作られた仏塔が数多くみられます。

ポロンナルワ

10～12世紀シンハラ王朝の首都であり、時の王達が灌漑設備を整え、仏教の普及に力を注いだため仏教都市として輝いたところでした。伝説によると、昔ミャンマーやタイから多くの仏教僧がこの町を訪れたそうです。ポロンナルワで一番有名な所は“ガルヴィハーラ”です。石で作られた巨大な仏像が数多くみられます。坐像や涅槃像など様々な仏像があります。

シーギリヤ

森の中の岩山の頂上に、かつて城があり、その一部が残っている巨大な岩です。洞窟に描かれた美女のフレスコ画はあまりにも有名です。5世紀後半王宮として使われたのはわずか11年間だけでした。石段を一つ一つ上がって行き、フレスコ壁画のある洞窟に入るとなんと、時代の流れを感じさせないほどの鮮やかな色と表情の美しさにみとれるほどです。頂上まで行くと王様の使っていたプールの跡や建物の跡がみられます。なによりも360度の大パノラマは素晴らしいです。

ダンブッラ

スリランカの最大の石窟寺院です。岩山の頂上の洞窟に、色鮮やかな壁画が描かれて多くの仏像が安置されています。ダンブッラは昔から僧院いわゆるお坊さんが住むところでした。

キャンディ

シンハラ王朝がイギリスに滅ぼされるまでの300年間都として栄えてきました。仏歯寺は仏教徒達の強い信仰の対象となっているところです。仏歯が安置されている部屋が開くのは、1日3回プ

ージャの時だけです。キャンディはスリランカ中部の最大の町です。この町は仏教の聖地として1988年に世界文化遺産に登録されました。

シンハラージャ森林保護区

スリランカのただ一つの自然遺産です。約1万ヘクタールの熱帯雨林です。世界でもここにしか生息しない動物が83種もいると確認されています。森林に入る前に動植物の厳しいチェックがあります。また専属のガイドも必要となります。スリランカ国内でもシンハラージャしか見られない動植物が数多くあります。保護内のドミトリーへの宿泊もできます。動植物園ではなく、ジャングルなので準備は万全にしてほしい。

ゴール

スリランカ南部最大の町です。14世紀頃より東方貿易地として栄えた地方でした。その後ポルトガル人の支配を受け、砦が築かれるようになりました。ゴールの町並みはその砦に囲まれ、ポルトガル建築による建物や教会が作られました。今でも古い教会や建物が植民地時代の面影を残しています。

次年度副幹事

酒向 謙次君



次年度副幹事としてご承認を頂きました、酒向です。2年間、宜しくお願いします。当初、石垣年度の幹事の頭しかありませんでしたので、予定外でしたがご指名を受けましたので、精一杯努めさせて戴きます。

(担当 / 鈴木廣)